

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	onestepsmile二俣川教室		
○保護者評価実施期間	2025年2月10日		2025年3月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2025年2月10日		2025年3月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月29日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの発達状態に応じた個別活動と集団活動	個々のニーズに合わせた個別療育の実施を軸に、日常動作訓練や創作活動、集団生活適応訓練を日々の活動に取り入れている。	個別療育定期的に行った後に、保護者様の分かりやすさやフィードバックできるツールの活用を検討していく。子どもは成長するに伴い、視野を広げ認識力を高め、自己探求や他者とのかかわりを深めていく。そのために発達段階に相応しい生活や活動を十分に経験する環境を提供していきたい。
2	季節ごとのプログラムや行事の計画	春にはお花見、夏には海やプール、夏祭り、秋にはミカン狩りや栗拾い、ハロウィン、冬にはスケートやクリスマス会など、季節ならではの活動や、地域資源の活用(図書館・消防署・警察署・動物園・公園など)を取り入れたプログラムを計画している。	子どもたちの興味に応じた企画を行う為に、子供や保護者様の意見を集める為にアンケートの実施を検討していきたい。
3	支援員同士なんでも意見が言えるような風通しの良い環境を整えている。	小さな事業所だからこそ、子どもたちの小さな変化もすぐに報告・相談・共有・話し合いをし、対応できるように取り組んでいる。	支援員同士、誰とでも意見交換しやすいように、日ごろからしっかりとコミュニケーションをとるとともに、その場にはない支援員にもしっかりと共有できるよう心がけていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ありがたいことにご利用希望者の方が多く、退会者も少ない為、支援が必要と思われる新規のお子様たちにご利用頂けないこと。	定員があるため、新規のお子様を受入れる事が出来ない。早期療育の必要性を知っているだけに、申し訳なく思う。	現在ご利用頂いているお子様を第一に考え、引き続きたくさん笑顔が溢れる場所を提供していきます。またご家族に寄り添い、共にお子様の成長を見守ってきたいと思います。
2	支援員によって支援にバラつきがあるという意見がある。	支援員間のスキルが共有できていないため。	支援員の知識の底上げを行う必要がある。スキルを共有することで、支援員間の理解と信頼の強化を図り、柔軟性と対応力の強化に努めていく。各支援員が自身の弱点を補い、強みを最大限活用できるように互いの能力を理解し尊重し合える環境を整えていく。
3	保護者の要望で学習支援が多いが、お子様たちにとっては嫌な事が中心の療育となってしまう内容が多い事。学習支援=塾的な要素を求めてご利用される方がいる事。放デイは点数を上げる場所ではない事を知っていただきたい。学びの意欲、学習を楽しんでもらうための術や、自信をもって生活するためのきっかけづくりの場所と理解してもらおう事。	点数など気にせず、学ぶことを楽しいと感じてもらえる課題や教材の準備、支援方法が必要と感じている。結果良い点に結びつけば、成功体験から自信に繋がり学校生活が楽しいと感じてもらえるような療育としていく。学校は学びの場。放デイは全てのお子様学習に触れてもらえるような療育の場。その取り組みを社会に知ってほしい。	放デイは、学校生活を送る為の補助的な場所と理解してもらい、学力アップの場所ではなく、SSTと学習と将来の為の目標をもって活動する場所であることを周知していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	onestepsmile二俣川教室
------	-------------------

公表日 年月日 : 2025.3.29

利用児童数

23

回収数

18

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	1				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	14	2		2	・活動中の様子が分からない。 ・現状のスタッフさんの人数など把握していないので分からない。	・ご意見ありがとうございます。 ・今後も引き続き、必要に応じて職員を増やし調整していきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	3				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	1				
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16		2		・すごく細やかに寄り添って支援してくださっていると感じます。とてもありがたいです。	・今後も子ども達の特性や保護者様のニーズに合った支援プログラムを考えていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16			2		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18				・学校での様子なども細やかに聞き取りして下さり、とても理解して下さっていると思います。	・引き続き子ども達の様子をお伝えしつつ、保護者様のニーズにも応じていきます。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	1		1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	2				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	1		1	・子どもがとても興味を持つプログラムばかりで、色々な体験もさせてもらえると思います。	・今後も引き続き子どもたちが楽しみながら、様々な体験や経験ができる活動プログラムを取り入れていきます。
11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	13		3	2			
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	3	3	4		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	17	1			・学校などで何かあった際もお話もお話を聞いて下さり、子どものケアはもちろんです。親の私も相談できてありがたいです。	・支援ではフィードバックからお子様の様子や健康面での様子を把握することに全職員で努めています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	2		1		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	7	4	2			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15		1	2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	17	1				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	1				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	2	1			
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17			1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	1		1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	1		2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17	1			・学校で不安を抱えたりしていても放デイには行きたがるので、子どもの中でも安心して落ち着ける場所になっています。	・今後も引き続き子ども達や保護者様共に安心できる環境づくりと療育に努めていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	1			・毎回の利用を楽しみにしています。来月の予定表をもらおうとウキウキしているくらいです。	・今後も通所を楽ししいと思ってもらえるよう支援内容を提案していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	3			・細やかな支援をして下さり、色々な体験をさせて下さり、家庭だけでは出来ないことをたくさんして頂いているので、大変満足しています。 ・子どもが学校で1人で長時間待つことになったことが数回あったので、安全面を考えて学校に連絡をしてもらえたりすると助かります。 ・不満ではありませんが、土日のお迎えの時間が早く来ると言われる時よりも、何も言わない時の方が早いことがあり、少しビックリする時がある。	・ご意見を参考に、より支援に満足して頂けるよう今後も務めていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	onestepsmile二俣川教室				公表日	2025年 3月 29日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		活動に応じて、児童が利用するスペースを分けている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		必要に応じて職員を増やし調整しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		屋内の玄関に段差はあるが、手すりが設置されている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		毎日の掃除、アルコール消毒を徹底している。子ども達の活動に合わせてスペースを分けている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		必要に応じて個別のスペースを確保している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		業務を行う上で気になる点が出てきた際には、都度職員間で話し合いを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		法令に合わせて年1回、事業所評価を実施し、業務改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		業務を行う上で気になる点が出てきた際には、都度職員間で話し合いを行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		現在、第三者による外部評価は実施していないが、必要性を検討した上で、今後体制を整えていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		<input type="radio"/>	事業所内での研修を行っている。	今後、外部研修の機会を増やしていけるよう検討していく。
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		支援プログラム作成、公表を法令に合わせて実施。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		計画期間ごとにモニタリングを行い、利用者や保護者様の意向を取り入れた支援計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		子どもたちの日々の様子を職員間で共有し、課題に応じた支援方法を共通理解をもって検討している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		計画は職員間で共有して支援内容に活かしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		アセスメントの実施、日々の様子や支援内容等記録し、毎月1回の職員会議にて確認している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		定期的にアセスメントを行ったうえで、5領域を踏まえ、本人や保護者様のニーズに合わせた個別支援計画を作成している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		活動プログラムは職員のアイデアを取り入れ、準備等を分担することでチームで作り上げるようにしている。	

支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		子どもの特性や状況に応じて、皆にとって有益になるようなプログラムが提供できるように努めている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		子どもの発達段階に応じた個別や集団における課題を見つけ、個別支援計画に反映させている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		その日の支援内容や役割分担について確認する機会を設け、利用者の状況や変化を職員全員が把握できるようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		送迎終了後に、職員で保護者様からの連絡事項やその日にあった出来事を話す機会を設け、情報交換を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援記録、業務日報に記録を残し、支援の検証・改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		最低でも半年に一度のモニタリングを実施し見直しを行っている。保護者に対してはできるだけ面談を実施し、学校や他事業所での様子を共有しながら利用者の全体像の把握に努めている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		ガイドラインに沿った内容で、社会生活を見据えた支援をおこなっている。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		日々の療育プログラムに加え、自由時間にやりたいことを選択肢を自ら選べるような工夫をしている。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児発管や管理者など、適任者がサービス担当者会議に参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		保護者様の許可を頂き、幼稚園・学校・相談支援事業と連携して情報共有を行い、支援体制を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		行事予定や下校時刻、送迎時の対応などは主に保護者様と情報を共有していただいております、必要に応じて学校と確認を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		ご要望や必要に応じて実施している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			現時点で事例はないが、今後対象者いる場合は、これまでの支援内容等を情報提供を行っていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			今後必要であれば検討していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			今後必要であれば検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		積極的に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳で日々の様子をお伝えするとともに、送迎時にも都度活動の様子や状況をお伝えし、情報共有を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			適時、電話やLINEなどで情報共有を行い、気軽に相談いただけよう環境づくりを心がけている。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に保護者様と書面の読み合わせをし説明を行い、質問等あればその場でお答えしている。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		契約時に本人や保護者様のニーズを聞き出し、それに基づいた支援を考えている。また面談時に新たなニーズがあれば、都度合う支援を考えている。		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		面談時に支援内容の説明を行い、保護者様から同意して頂いたうえで署名をいただいている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		必要に応じて面談だけでなく、電話やLINE等でも相談を受けており、支援方法などを提案している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		年に一回は保護者交流会を開催し交流の場を設けている。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		契約時に苦情に関する相談窓口について説明し、重要事項説明書に第三者窓口の記載についてもご案内している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月おたよりを作成し配布している。また日々の活動をLINEやインスタグラム等で発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報は鍵付きの書庫に保管している。廃棄書類等はシュレッダーを使用している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		状態に応じて視覚支援（図やイラスト等）を用いて情報の伝達を行ったり、意思の疎通ができるよう努めている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		R7.3月上旬に地域住民を招待して、親子で参加できる親子コンサートを開催し、子どもから年配の方まで参加して頂きました。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルは策定しており、定期的に研修を行っている。	各マニュアルはいつでも閲覧できるよう、事業所の入口付近に配置を検討していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCP（感染症・自然災害）は策定しており、定期的に避難訓練や研修を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		服薬の必要な子どもの保護者様より、状況を共有し確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食物アレルギーについては、契約時に確認している。配慮が必要な場合は、医師の指示書を提示いただくようにしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			安全計画を策定し、計画の見直しなどを通して、安全安心な空間で支援していく。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に非常時（地震・火災）の対応や避難経路について説明している。	安全計画を策定し、計画の見直しなどで周知していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事案が起こった際ヒヤリハットを作成し、原因と対策について職員間で話し合い周知に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止マニュアルを作成しており、定期的に研修を行っている。	虐待・身体拘束防止ゼロを継続していく。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			やむを得ず身体拘束にあたる行為があった場合は保護者様に報告し、承諾を得て記録に残していく。	